

イノベーション部門

応募事例名

脱炭素化に向けた東京都下水道局の挑戦 ～「アースプラン2023」の策定～

応募団体名)東京都下水道局

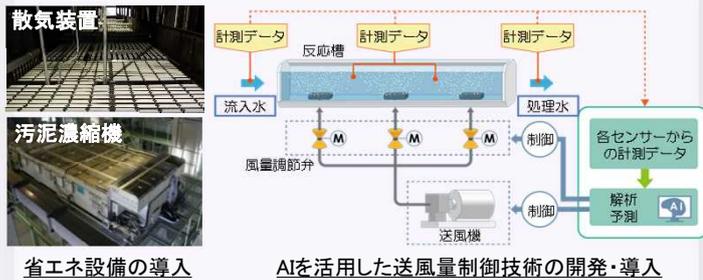
応募事例の概要

東京都下水道局は、2023年3月に「アースプラン2023」を策定し、脱炭素化に向けた取組を加速・強化するため、2030年度までに温室効果ガス排出量を50%以上削減(2000年度比)する一段高い目標を設定するとともに、その先の2050年脱炭素(ゼロエミッション)実現に向けた革新的な取組に挑むビジョンを示しました。



■ 2030年カーボンハーフ実現に向けた取組

エネルギー起源CO₂と下水処理過程で発生するN₂O等の削減を総合的に勘案した対策を推進

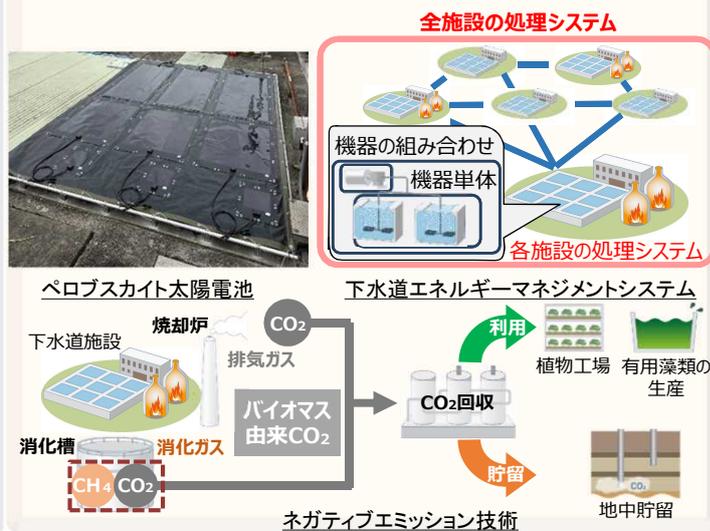


省エネ設備の導入

AIを活用した送風量制御技術の開発・導入

■ 2050年ゼロエミッション実現に向けたビジョン

下水道が持つポテンシャルや下水道資源を最大限に活用した革新的技術の開発・導入を推進



ペロブスカイト太陽電池

下水道エネルギーマネジメントシステム

PRポイント

- ✓ 2030年カーボンハーフ実現に向けて、地球温暖化対策とエネルギー対策を一体的に推進し、脱炭素に向けた取組を加速・強化
- ✓ 国内自治体で初めて、2050年度の温室効果ガス排出量予測や下水道エネルギーポテンシャルを試算し、2050年に向けた革新的技術の導入を見据えたビジョンを作成



エネルギー・温暖化対策
推進担当課長
宗吉 統

取組に関するエピソード

「アースプラン2023」は、2030年までの取組と効果に加え、2050年を見据えた長期的なビジョンも示した画期的な計画です。外部有識者による委員会を立上げ、活発に議論頂いたことで、2030年目標達成に向けた取組や2050年のビジョンが明確となり、より意義のある計画となりました。今後とも、「アースプラン2023」に基づき、温室効果ガス排出量のより一層の削減に取り組んでまいります。